

消防局

平成19年度事務事業評価一覧														
No	部名	担当課	予算上の事務事業名	一次評価					今後の進め方	事業所管課長説明	今後の進め方	二次評価結果		備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定				二次評価結果コメント		
1	消防局	消防総務課	消防団運営交付金	B	A	A	無		現状維持	消防団活動に必要な経費を補うための事業であり適正な交付額である。	現状維持	消防団員の確保や活動状況等の成果を検証し、効果的な事業実施を図るとともに事業内容の精査を行うこと。		
2	消防局	消防総務課	消防団活動費	A	A	B	無		現状維持	消防団活動に対する実費弁償であることから必要である。	現状維持	適正な執行に努めること。		
3	消防局	消防総務課	消防団詰所・車庫維持補修費	A	B	B	無		現状維持	年々施設は老朽化していくが、消防団施設は設備等の不備による災害出場不能が許されない施設であり、必要な事業である。緊急性を考慮し、今後も適正な事業を進める。	現状維持	老朽化が著しく業務に支障のある施設を効果的に修繕すること。		
4	消防局	消防総務課	消防職員に必要な被服購入事業	A	B	B	無		見直し	平成15年度の財政事情により、規則に定められていたサイクル貸与が実施できなくなり、経年劣化の届け出による貸与方法を実施していたが、対応が困難なため、平成18年度に規則の見直しをするとともに、貸与方法についても、点数制に改める予定。	見直し	事業所管課の課長による評価(今後の方向性)のとおり、見直しとする。見直し後の検証を行い、効果的な事業実施を図ること。		
5	消防局	予防課	相模原市防災協会補助金	B	A	B			現状維持	市民と行政が一体となった防火防災活動の充実を図るため、防災協会の運営費の一部を助成し、防火防災活動を積極的に支援し、充実、発展することは、市民が安全に暮らせる都市の実現を推進することができる。市の行政を補完する役割を担う法人として、今後も継続的に人的、財政的に支援を行う必要がある。	現状維持	効率的な事業の実施に努めること。		
6	消防局	警防課	消防団車両購入事業	A	A	B	無		現状維持	老朽化した消防団車両の機能充実した車両に更新するのに、必要不可欠な事業である。	現状維持	老朽化が著しく業務に支障のある車両更新を優先し、効果的な事業の実施に努めること。		
7	消防局	警防課	消防団車両維持管理	A	A	B	無		現状維持	市町合併に伴い、消防団車両が90台から120台に増加し、より消防団車両の維持管理について、必要不可欠の事業である。	現状維持	車両の適正な維持管理に努めるとともに、効率的な事業の実施について検討すること。		
8	消防局	警防課	出初め式開催事業	A	B	A	無		現状維持	消防団員及び消防職員の士気高揚並びに市民に対して広く消防力の全容を公開する事業として定着しており、将来的には政令市への移行等による行政組織改革を見据えた見直し等の課題は予想されるものの、概ね良好な事業である。	現状維持	効果的な事業の実施を検討すること。		
9	消防局	指令課	通信施設維持管理費	A	A	B	無		現状維持	市町村の消防責任を果たすべく展開されている消防業務のうち、本課が主管する事業は、市民の生命、身体及び財産の保護に直結するため、常に機器等が的確に作動するよう維持管理するとともに、新たな通信システムの導入等時代の変遷に的確に対応しなければならない。	現状維持	適正で効率的な維持管理を行うこと。		